

令和7年度 第50回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文は語りの台本の作り方について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

聞かせる対象者にふさわしい内容のお話を考える。話が決まったら聞き手を意識した台本を作る。「ゆるやかにはじまりその後いろいろに変化しながら（ 1 ）を迎え、急速に（ 2 ）に向かい結末につながる」という流れに沿っているものが聞きやすい。（ 3 ）と地の文で台本を書き表し、（ 3 ）を多くし（ 4 ）に語ることで説明は少なくする。

- ア 失敗 イ 山場 ウ せりふ エ 解決
オ 間合い カ 表情豊か キ ト書き

- 2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) はじめてのおつかい (2) かいじゅうたちのいるところ
(3) 14ひきのあさごはん (4) スイミー

- ア センダック イ レオ・レオニ ウ 筒井頼子 エ いわむらかずお

- 3 次の言語表現活動の名称を答えなさい。

- (1) 胸当て式エプロンに背景を縫いつけ、ポケットから登場人物を取り出し、マジックテープでそこにつけたりはずしたりしながら物語を進めていく。
(2) 演ずる人が手を人形の身体に入れ、指で操作する。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和7年度 第49回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文は言葉の発達について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

生まれたばかりの赤ちゃんは、泣くことで、空腹やのどの渇き、不快感などの意思を伝える。これに対して、親などが適切に（ 1 ）すると、感情を込めたものに変化が見られるようになる。

生後1か月過ぎごろに、喉を鳴らして「アー」「ウー」と音を出すことがある。これを（ 2 ）という。

4～5か月ころになると、「バーバー、ブーブー」といった（ 3 ）が見られるようになる。これに対して、子供が表現しようとしている気持ちに寄り添って同じようにこたえてあげると、（ 4 ）を持つものへと変化していく。

ア 一語文 イ コミュニケーション ウ 応答 エ クーイング
オ 共感性 カ 喃語 キ 創造性

- 2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) おふろだいすき (2) どろんこハリー
(3) はははのはなし (4) はなをくんくん

ア ジーン・ジオン イ 加古里子 ウ ルース・クラウド エ 松岡享子

- 3 次のことば遊びの名称を答えなさい。

- (1) 歌詞に合わせて線を引くうちに絵ができて上がる。
(2) 歌のリズムに合わせて、手や指を動かす。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和6年度 第48回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は言葉の発達について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

生まれたばかりの赤ちゃんは、(1) ことで、空腹やのどの渇き、不快感などの意思を伝える。これに対して、親などが適切に (2) すると、感情を込めたものに変化が見られるようになる。

4～5か月ころになると「バーバー」「ブーブー」といった喃語が見られるようになる。これに対して、子供が表現しようとしている気持ちに寄り添って同じようにこたえてあげると、(3) を持つものへと変化していく。子供と (4) を合わせながら声をかけるなど、適切に (2) していくことが大切である。

- ア 応答 イ まなざし ウ 泣く エ クーイング オ 共感性

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) わすれられないおくりもの (2) スイミー (3) 銀河鉄道の夜
(4) いいから いいから

- ア 宮沢賢治 イ スーザン・バーレイ ウ レオ・レオニ エ 長谷川義史

3 次の言語表現活動の名称を答えなさい。

- (1) 日本独自の児童文化財で、集団を対象につくられたもの。声色や間の取り方、紙の引き抜き方などを工夫することで作品の世界を伝える。
(2) 絵と言葉が補いあって表現された作品で、一人でじっくり観る、仲間数人で読む、集団で読んでもらうなどさまざまな楽しみ方ができる。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和6年度 第47回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文はことば遊びについて述べたものである。適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 同じ音が重なっているなどして発音しにくい文句を間違えずに早く言うもの。
- (2) 前の言葉の終わりの音を取って、後の言葉の初めに置きながら、ものの名を順々に言い続けていくもの。
- (3) 歌詞に合わせて線を引くうちに絵ができ上がる。
- (4) ことばや文章などの中に、ある意味を隠して問いかけ、その意味を当てさせる。

ア 絵描き歌 イ 手遊び歌 ウ 早口ことば エ なぞなぞ オ しりとり

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) いやいやえん (2) はらぺこあおむし (3) はなをくんくん
- (4) わたしのワンピース

ア エリック・カール イ にしまきかやこ ウ ルース・クラウド
エ 中川李枝子

3 次の言語表現活動の名称を答えなさい。

- (1) ごっこ遊びの延長線上にある活動で、お話の世界を自分たちで膨らませ、表現する。
- (2) 平面のうちわ人形で、製作は簡単で手軽である。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和5年度 第46回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児にお話をするときの留意点について述べたものである。正しいものを4つ選び、記号で答えなさい。

- ア 話し手は、いつでも話せるお話の貯えを持っていて、自分の中で熟成させておく。
- イ 話し手は、お話の内容を自分のものになるまで、何度も音読しておく。
- ウ お話の元の形に手を加えて、幼児にあったアクセントや発音で話す。
- エ お話の語尾は、声を抑えたり強めたりして強調する。
- オ お話の間の取り方を工夫することは、内容をイメージ化するために大切である。
- カ お話の内容によって話す速さを使い分け、声色も大いに変えたほうがよい。
- キ 自然な表情で話し、オーバーなジェスチャーは不必要である。

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) エルマーのぼうけん (2) アンパンマン (3) きんぎょがにげた
- (4) 昆虫記

- ア フェアブル イ 五味太郎 ウ R. S. ガネット エ やなせたかし

3 次の問いに答えなさい。

- (1) 乳児期に発声する「バーバー」「アーアー」などの未分化な音声を何というか。
- (2) 2歳のころに「ブーブー、きた」と話すようになる。このような言葉の発達を何というか。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
					(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和5年度 第45回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文はお話を創作するときの留意点について述べたものである。正しいものを4つ選び、記号で答えなさい。

- ア セリふを多く、説明を少なくして、想像しやすい情景にする。
- イ 聞かせる対象者を考慮し、登場人物や動物が身近なもので、内容はわかりやすいものにする。
- ウ 身振りや手振りを入れやすくし、場面展開を早くする。
- エ お話は、ゆるやかにはじまり、その後いろいろに変化しながら山場を迎え、急速に解決に向かって結末につなげるようにする。
- オ 流行の言葉や難しい表現を多く使って、子供の学習に結びつくようにする。
- カ お話の内容は、聞き手が容易にイメージできるものにする。
- キ 幼児教育として、必ず教訓的な内容をもり込むのがよい。

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) ごちゃまぜカメレオン (2) ちいさなうさこちゃん
- (3) モチモチの木 (4) もこ もこもこ

ア 谷川俊太郎 イ エリック・カール ウ 斎藤隆介 エ ディック・ブルーナ

3 次の言語表現活動の名称を答えなさい。

- (1) 手づかい、棒づかい、糸繰りなどの種類があり、保育現場では片手づかいが普及している。
- (2) ネル素材の舞台に、不織布で作った人形などを貼ったり、動かしたりしてお話を展開する。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
					(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和4年度 第44回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文は幼稚園教育要領の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の言葉による伝え合いの内容である。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

先生や友達と心を通わせる中で、(1)や物語などに親しみながら、豊かな言葉や(2)を身に付け、(3)したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを(4)ようになる。

ア 感覚 イ 表現 ウ 楽しむ エ 経験 オ 絵本

- 2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

(1) もりのなか (2) ねずみくんのチョッキ (3) ふしぎなえ

(4) しろいうさぎとくろいうさぎ

ア なかえよしお イ ガース・ウィリアムズ ウ 安野光雅

エ マリー・ホール・エッツ

- 3 次の遊びの名称を答えなさい。

(1) 幼児期に「ままごと」に代表されるような身近な生活をまねて行う。

(2) 数え歌やしりとりなどに代表される自分の覚えた言葉を組み合わせ、言葉のリズムや音声の組み合わせを楽しむ。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和4年度 第43回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文を読んで、空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

1992年イギリスのバーミンガムで「識字率向上」と「本を通して赤ちゃん楽しい時間を分かち合う」ことを目的に始められた教育改革運動を（ 1 ）運動という。

①家庭で読み書き能力の基礎を培う、②赤ちゃんの本の時間を持ち、（ 2 ）する。③本から得られる喜びや満足感を共有する、という3点を応援していくための活動である。

日本では、「（ 3 ）（2000年）」にこの運動が紹介された。日本では識字率向上というよりは、養育者と赤ちゃんの（ 4 ）の支援としての意味合いに重点を置いている。

- ア 子ども読書年 イ 習慣化 ウ 関係作り エ 早期教育
オ ブックスタート

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 三びきのやぎのがらがらどん (2) かばくん (3) ティッチ
(4) しょうぼうじどうしゃじぶた

- ア 渡辺茂男 イ マーシャ・ブライン ウ ハッチンス エ 岸田衿子

3 次の言語表現活動の名称を答えなさい。

- (1) 演ずる人が手を人形の身体に入れ、指で操作する。
(2) 胸当て式エプロンに背景を縫いつけ、ポケットから登場人物を取り出し、マジックテープでそこに付けたりはずしたりしながら物語を進めていく。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和3年度 第42回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文は平成29年告示「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の言葉に関する内容について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

(1) したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする
(2) や態度を育て、言葉に対する (3) や言葉で (4) する力を養う。

ア 感覚 イ 経験 ウ 表現 エ 意欲 オ 記憶

- 2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

(1) こすずめのぼうけん (2) どろんここぶた (3) ぐりとぐら (4) 11ぴきのねこ

ア 馬場のぼる イ 中川李枝子 ウ アーノルド・ローベル
エ ルース・エインズワース

- 3 次の問いに答えなさい。

(1) 子どもの遊びの世界を広げ、豊かな成長を支えるために与えられた美術、音楽、玩具、遊具、紙芝居、絵本などを総称して何というか。

(2) かるた、絵かき歌、お手玉など子どもから子どもへ伝えられ、子どもの手によって作りかえられた遊びを何というか。

解 答 欄

学年		受検番号		名前						
----	--	------	--	----	--	--	--	--	--	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否	
-----	--	-------	--

令和3年度 第41回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文は語りの台本の作り方と語りについて述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

話の内容を決めたら、台本を作る。「ゆるやかにはじまりその後いろいろに変化しながら山場を迎え、急速に解決に向かい結末につながる」という流れに沿っているものが聞きやすい。せりふと地の文で台本を書き表し、せりふを多くし表情豊かに語ることで説明は少なくする。

台本の推敲が終わったら、話の（ 1 ）を頭に入れながら話を覚える。ことばを（ 2 ）するのではなく、場面ごとの（ 3 ）を頭の中に思い浮かべながら語るのがよい。全体を語り通す仕上げを繰り返し行くと、語りへの（ 4 ）が生まれる。

ア 骨組み イ 自信 ウ 丸暗記 エ 情景 オ 満足

- 2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) えんそくバス (2) キャベツくん (3) 100まんびきのねこ
(4) いたずらきかんしゃちゅうちゅう

ア バージニア・リー・バートン イ ワンダ・ガアグ
ウ 中川ひろたか エ 長 新太

- 3 次の問いに答えなさい。

- (1) 3歳ころには、「なぜ、どうして」といった、より複雑な質問が見られ始める。この時期を何というか。
(2) 子どもを対象とした詩、小説などの読み物の総称を何というか。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否	
-----	--	-------	--